

令和3年度 函館英語英文学会研究発表会プログラム

日時：令和3年11月13日（土） 13:00-17:40

会場：北海道教育大学函館校 大会議室（オンライン（Zoom）併用）

共催：日本英文学会北海道支部

後援：北海道教育大学函館校

開会の辞・総会（13:00-13:10）

研究発表 第一セッション（13:15-14:55）

1. 反応目的語構文において観察される意味的特徴——結果の目的語としての特徴から——
峠 光（北海道教育大学大学院生）
2. Look と See の言語活動の違いについて
石川 博基（秋田県立男鹿海洋高等学校）
3. 大学英語教育におけるリモートツールとオンデマンドツールの併用による授業展開の実践と課題
河村 昌子（北海道教育大学非常勤講師）
4. 多読&多聴の効果と普段の英語授業
三浦 隆行（函館大学）

研究発表 第二セッション（15:00-16:40）

5. 中国語の主観性と文末表現に関する考察——日英語の表現構造との比較から——
中谷 博美（滋賀県立大学）
6. コントロールサイクルに基づいた迂言的使役構文に関する考察
佐々木 昌太郎（高知大学）
7. タスク・パフォーマンスの言語的特徴の分析——教育的活用法を求めて——
白田 悦之（函館工業高等専門学校）
8. 外国語授業の量的分析結果を使う授業改善の試み
石塚 博規（北海道教育大学 旭川校）
萬谷 隆一（北海道教育大学 札幌校）

特別講演（16:45-17:35）

英文法の正体

濱田 英人（札幌大学）

閉会の辞（17:35-17:40）